

## Stage4

### Computer Games

#### コンピューターゲーム

作・ハイドン・ミドルトン

##### <読むまえに>

お子さんが読むまえに、この本についてお子さんと話しましょう。

- ・表紙をお子さんと見て、それからこの本にざっと目を通しましょう。こういうコンピューターゲームで遊んだことがあるか、お子さんにたずねてみましょう。
- ・お子さんは、どのコンピューターについていちばん知りたいと思っていますか。
- ・4ページの年表を見て、なんの年表かについて話しましょう。

##### <読んでいるときに>

自分のスピードで読めばいいよと、お子さんにいってあげましょう。

お子さんが単語を読むのにつかえたときは、次のようにうながしてあげてもいいでしょう:

- ・ことばを声にだして行ってごらん。
- ・その文章のはじめにもどって、もう一度読んでみよう。
- ・絵を見るとわかるよ。

##### <ひっかかることば>

ここにあるのは、お子さんがこの本を読むときにひっかかりそうなことばです。

arcade ゲームセンター

computer コンピューター

came やってきた

plugged 接続された

console ゲーム機

Internet インターネット

were だった

images 画像

[p. 1]

コンピューターゲーム

目次

ゲーム開始!	p.2
ゲームセンターのゲーム	p.4
家庭用コンピューター	p.6
テレビゲーム	p.8
携帯ゲーム機	p.10
運動をするゲーム	p.12
コンピューター年表	p.14
用語集	p.16

作・ハイドン・ミドルトン

[p. 2]

ゲーム開始！

コンピューターゲームをしたことはありますか？

[p. 3]

コンピューターゲームは楽しいものです。コンピューターゲームは、読んだり計算したりの手伝いもしてくれます。

[p. 4]

ゲームセンターのゲーム

[p. 5]

むかしは、コンピューターゲームをするためにゲームセンターに行きました。コンピューターゲームはとても単純なものでした。

これは「ポン」と呼ばれた、卓球のゲームです。

[p. 6]

家庭用コンピューター

その後、みんな自分用のコンピューターを持ちはじめました。

[p. 7]

<このようなゲームをしていました>

人びとは、家でコンピューターゲームをしました。

[p. 8]

テレビゲーム

それからゲーム機が現れました。

ゲーム機はテレビにつながりました。

[p. 9]

「ソニック・ザ・ヘッジホッグ」

コンピューターゲームはどんどん改良されていきました。画像がよくなり、動きがよくなっていきました。

[p. 10]

携帯ゲーム機

コンピューターゲームの中にはテレビが必要ないものもありました。携帯ゲーム機でゲームができました。

<ゲームボーイは携帯ゲーム機です>

[p. 11]

現在では、携帯電話でゲームをすることができます。

[p. 12]

運動をするゲーム

<任天堂の Wii でこんなゲームをして、健康をたもつことができます>

コンピューターゲームはよくなり続けています。

[p. 13]

いまや、インターネット上で友だちとゲームができます。同じ部屋にいる必要もないのです！

[p. 14]

コンピューター年表

1970

ゲームセンターでゲームをしました。

1980

家でコンピューターゲームをしました。

1990

ゲーム機をテレビにつなぎました。

[p. 15]

携帯ゲーム機でゲームをします。

2000

携帯電話でゲームをします。

現在

コンピューターゲームで健康維持ができます。

インターネット上で友だちとコンピューターゲームができます。

[p. 16]

用語集

ゲームセンター コンピューターゲームをしに行くところ

コンピューター 仕事やゲームができる機械

ゲーム機 ゲームができるコンピューター

携帯電話 持ち運びできる電話

<読んだあとで>

読んだあとで、この本についてお子さんと話しましょう。こんな質問をしてみましょう：

- ・どのタイプのコンピューターがいちばん気に入りましたか。
- ・コンピューターゲームについて、ほかにどんなことを知りたいですか。
- ・この本はおもしろかったですか。それはなぜですか。

この本をまた読んでみようとお子さんにすすめてください。読む自信をそだて、つかえずに読めるようになります。

<ほかにすること>

コンピューターゲームにはいろいろなタイプのものでたくさんあります。お子さんは、図書館の本やインターネットを利用して、コンピューターゲームのいろいろな種類についてもっとくわしく知ることができるでしょう。お子さんにお気に入りのゲームや、好きではないゲームのことを教えてもらいましょう。お子さんは、お気に入りのコンピューターゲームのキャラクターの絵をかいてもいいですね。